

平成 25 年度図書館情報メディア系プロジェクト研究 研究成果報告書

種 目	外部資金獲得支援・萌芽的研究支援	研究代表者 氏 名	吉田 右子
研究課題	図書館情報専門職の歴史的資料の保存と利用に関する総合的研究：図書館情報学アーカイブの構築に向けて		
研究組織（研究代表者及び研究分担者）			
氏 名	所属研究機関・部局・職	現在の専門	役割分担
吉田 右子	図書館情報メディア系・教授	図書館情報学	図書館学研究（総括）
逸村 裕	図書館情報メディア系・教授	学術情報流通論	学術情報史研究
宇陀 則彦	図書館情報メディア系・准教授	情報資源管理	デジタルアーカイブデザイン
大庭 一郎	図書館情報メディア系・講師	図書館情報学	図書館職員養成史研究
阪口 哲男	図書館情報メディア系・准教授	情報学	情報メディア機器研究
白井 哲哉	図書館情報メディア系・教授	日本アーカイブズ学	文献資料アーカイブ設計
原 淳之	図書館情報メディア系・助教	図書館情報学	図書館制度史研究
平久江祐司	図書館情報メディア系・教授	図書館情報学	図書館職員養成史研究
松村 敦	図書館情報メディア系・助教	情報学	デジタルアーカイブデザイン
三森 弘	図書館情報メディア系・助教	建築計画	アーカイブ空間デザイン
水嶋 英治	図書館情報メディア系・教授	博物館情報学	現物資料アーカイブ設計
毛利るみこ	図書館情報メディア系・准教授	生涯学習政策	図書館職員養成史研究
研究目的			
本プロジェクトは図書館情報メディア学の基盤となる図書館情報専門職に関わる研究・教育に資する「21世紀図書館情報専門職養成研究基盤アーカイブ」を最先端のアーカイブ技術を導入し構築するための予備的研究として、本研究科の前身校（文部省図書館員教習所、帝国図書館附属図書館職員養成所、図書館短期大学、図書館情報大学）の関係資料を総合的に解明することを目的とする。			
研究成果			
本プロジェクトでは以下のテーマについて研究を行った。			
<p>(1) 対象資料の内容的検討（所蔵文献資料・実物資料の精査と電子化のための選別作業および資料の整理）</p> <p>(2) アーカイブのデザイン設計の検討（現物の整理・展示およびデジタルデータ組織化・一部のサンプル資料の電子化・多言語インターフェースの設計）</p> <p>(3) 対象資料の内容分析・調査研究および図書館情報学研究におけるアーカイブ活用可能性の検討（図書館職養成史に関わる先行研究において使われた資料群の同定と、本アーカイブ資料の内容の照合）</p> <p>(4) 図書館情報学教育における本アーカイブ活用可能性の検討（すでに完成し情報メディアユニオン一階において一般公開され教育的活用が進められている「メディア史に関わる常設展示コレクション」への現物資料の編入。図書館史関係教育コンテンツの再検討）</p>			
図書館史研究チームとデジタルアーカイブチームの 2 つのグループに分かれて、上記のテーマに関わる研究を遂行することにより「21世紀図書館情報専門職養成研究基盤アーカイブ」構築に必要な予備的研究を終了した。			

研究発表・特許等の成果一覧、特記事項等 (論文のPDFまたはコピーを添付のこと)

- ①宇陀則彦、松村敦、阪口哲男、三森弘、水嶋英治、逸村裕「21世紀図書館情報専門職養成研究基盤アーカイブ構築に向けた情報アーキテクチャに関する一考察」第45回ディジタル図書館ワークショップ (2013年9月26日於筑波大学東京キャンパス文京校舎)
- ②吉田右子、白井哲哉、大庭一郎、原淳之、平久江祐司、毛利るみこ「図書館専門職養成史の批判的再検討:図書館情報学とアーカイブズ学の方法論的統合の可能性」日本図書館情報学会研究大会 (2013年10月13日於東京大学) ※添付ファイルは著者原稿版ですが、そのまま発表論文集に掲載されました。